



2024年5月15日

各 位

会社名 エステールホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸山 雅史
(コード: 7872 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理本部長 横内達治
電話番号 03-6628-8480

減損損失の計上、繰延税金資産の取り崩し及び 業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）において、店舗の減損損失の計上と繰延税金資産の取り崩しを行うとともに、2024年2月8日に公表いたしました通期連結業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しについて

当期も連続赤字見込みの店舗の固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価格を回収可能価額まで減損し、減損損失として2億76百万円を計上することとなりました。併せて、事業環境と今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を9億12百万円取り崩し、法人税等調整額に同額を計上することとなりました。

2. 業績予想値と実績値の差異

(1) 2024年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 31,650	百万円 145	百万円 350	百万円 △730	円 銭 △69.48
実績値 (B)	31,699	163	303	△979	△93.27
増減額 (B-A)	49	19	△47	△249	—
増減率 (%)	0.1	12.6	△13.2	△34.1	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	29,627	106	314	100	9.45

(2) 業績予想値と実績値の差異の理由

親会社株主に帰属する当期純損失につきまして、前回7億30百万円で見込んでおりましたが、2億49百万円下回る結果となりました。主な要因としましては、経常利益が47百万円下回り、減損損失が99百万円増加したことおよび法人税等合計が1億2百万円増加したことによります。減損損失につきましては、冬および春の大きな商戦期である第4四半期の結果を踏まえ、当期及び今後の業績見通しについて検討を行った結果、宝飾事業及び食品販売・飲食店事業店舗の減損損失が99百万円増加いたしました。また法人税等につきましては、主にエステールホールディングス株式会社及びその子会社であるAs-meエステール株式会社における繰延税金資産の回収可能性について、当期及び今後の業績見通しをふまえ、慎重に検討した結果、繰延税金資産の取り崩しが92百万円増加したことによるものであります。

以上